



No 2769

2015-2016年度

会長 中元耕一郎

幹事 上野山栄作

R広報委員長 児島 良宗

# 有田

担当：脇村副委員長

第2640地区  
 例会日 毎週木曜日 12:30  
 例会場 紀州有田商工会議所6F  
 〒649-0304  
 有田市箕島33-1  
 紀州有田商工会議所2F  
 有田ロータリークラブ  
 Tel (0737) 82-3128  
 Fax (0737) 82-1020  
 創立 昭和34年6月15日  
 ホームページ  
<http://www.1a.biglobe.ne.jp/aridarc/>  
 e-mail aridarc@kdt.biglobe.ne.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

テ  
R  
I  
マ  
マ



世界へのプレゼントになろう  
 Be a gift to the world  
 世界へのプレゼントになろう

テ  
R  
I  
マ  
マ



奉仕の理想車を走らせよう!!  
 Let's drive your ideal car of the service!!

### 次回のお知らせ

平成28年2月18日 第2771回

- ・後期IDMの発表  
発表：上野山 栄作 君・橋本 拓也 君
- ・ソング：「それでこそロータリー」

### 本日のプログラム

平成28年2月4日 第2770回

- ・会員卓話：中元 耕一郎 君  
「私の信じるロータリー」
- ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

### 前回の報告（第2769例会）

ローテーションデー（桜ヶ丘病院）



開催日 平成28年1月28日(木)

点 鐘 (中元会長)

### ゲストの紹介 (橋爪(誠)親睦活動委員長)

ゲスト:桜ヶ丘病院 成川 暢彦 院長  
 石関 理人 事務長  
 濱 真理子 副院長兼看護師長  
 藤本 至 事務次長

### 会長の時間 (中元会長)

本日は職業奉仕月間の最後の週となります。ローテーションデーで桜ヶ丘病院を訪問させていただいています。成川守彦理事長先生、成川暢彦院長先生よろしくお願ひ致します。

さて、今日は稲盛和夫氏についてお話ししたいと思います。稲盛氏は1932年鹿児島県鹿児島市薬師町に7人兄弟の二男として生まれました。父親は「稲盛調進堂」という名で印刷工場を経営していたとのこと。1955年に鹿児島大学工学部を卒業した後、教授の紹介で碍子メー

カーの松風工業に入社し、1958年には退社しています。当時の松風工業は、倒産寸前で退職者が相次いでいました。

1959年に社員8人で京都セラミック(現京セラ)を設立し、その後ファインセラミックスの技術を開発し成長します。1984年には第二電電(DDI)を設立し、これは後にケイディディや日本移動通信と合併し、今日のKDDIとなります。また、2010年には当時の鳩山由紀夫首相からの要請で日本航空(JAL)の代表取締役会長の職に就き、日本航空の再建に取り組み、見事にJALの再建に成功しました。

稲盛氏にはまだまだ、数多くの業績があります。その中でも特に優れているのは、やはりファインセラミックスの技術開発でしょう。ファインセラミックスはセラミックスの中でも、特にエレクトロニクス産業をはじめ、各種産業用途に用いられる磁器です。そして、高い性能と精度が要求されることから、粘土や珪石などの天然材料から作られる一般の陶磁器と区別されています。

セラミックスとファインセラミックスの違いは、主に原料とその製造方法に起因します。セラミックスは陶石、長石、粘土などの天然の鉱物を用いて混合し、成形、焼成するといった方法で作られます。代表的なものは、陶磁器、ガラス、セメントなどです。一方、ファインセラミックスは、高純度に精製した天然原料や、化学的プロセスにより合成した人工原料、天然には存在しない化合物などを使います。これらの原料を配合することによって、目的とする性質を持つ物質を得ることができます。例えば、携帯電話やカーナビ、携帯音楽プレーヤー、セラミックコンデンサーや、温度センサー、ガスコンロやライターのスイッチにも応用されています。また、熱にも強く液晶プロジェクターや蛍光灯に使



われています。医療面では人工関節や人工骨、手術器具にも応用され、その他にも数えきれないほどの分野で使用され、その利用価値は計り知れません。

さて、稲盛氏は人生・仕事の結果について、面白い計算式を作られています。それは、人生・仕事の結果＝考え方×熱意×能力という式です。「能力」とは、才能や知能といった「先天的な資質」であるのに対し、「熱意」とは、情熱や努力する心といった「後天的な努力」を表します。そして、「考え方」とは、哲学や思想、倫理観といった生きる姿勢、それらをすべて包含した「人格」を表します。最も大事なものは考え方だと述べています。また、稲盛氏はこの「考え方」について、常に前向きで建設的であること。感謝の心を持ち、みんなと一緒に歩もうという協調性を有していること。明るく肯定的であること。善意に満ち、思いやりがあり、やさしい心を持っていること。努力を惜しまないこと。と述べています。

この考え方は、基本的なロータリーの精神にも共通するものであると思います。そして、稲盛氏の考え方の根底にあるものは利他的な精神であり、正々堂々と人間として正しいやり方を貫けば、運命は開けてくると言われています。これらは我々ロータリアンにも多くの示唆を与えてくれるものであると思います。

### 幹事報告

(上野山(栄)幹事)

- 1.公益財団法人米山記念奨学会より特別寄付の特別寄付金明細書のデジタル化についての案内が届く
- 2.福井ガバナーエレクトよりPETS開催の案内が届く  
3月5日 ホテルアゴラ リージェンシー堺  
3月20日 和歌山JAビル (松村会長エレクトに)
- 3.次年度のためのRI資料が届く(松村会長エレクトに)
- 4.山田次期地区代表幹事よりクラブ会長・幹事住所録の依頼(橋爪(誠)次年度幹事が処理済み)
- 5.田辺東ロータリークラブより第11回田辺東ロータリーカップ ジュニアゴルフ大会参加申し込みの案内が届く ジュニアゴルフファー育成のための事業 3月29日 ラビーム白浜にて 小・中・高の部あり 参加者を募る
- 6.有田南ロータリークラブ 坊岡会長エレクトより次年度会長幹事懇談会の日程調整が届く(松村会長エレクトに)
- 7.国際大会の旅行社より申込書が届く 参加者はご記入ください
- 8.The Rotarian (回覧)
- 9.例会変更 (事務局へ)

### 委員会報告

- \* 社会・青少年奉仕委員会(橋本委員長)
- ①先週の初島中学校での職業紹介事業、ごくろうさまでした。
  - ②先週1/23(土)、地区のクラブ社会奉仕委員長会議があり橋爪誠治君と出席しました。各クラブから各々のクラブで実施している社会奉仕活動の紹介がありました。

### 出席報告

(上野山(捷)例会運営委員)

本日の会員数28名  
(出席規定免除会員9名)  
出席会員数22名  
(出席規定免除会員8名)  
84.62%  
1/14 76.92%  
MU:なし

### ニコニコ箱の報告

(中村SAA)

中元君:成川守彦理事長先生、成川暢彦院長先生、本日のローテーションデー、お世話になります。よろしくお願ひ致します。

上野山(栄)君:本日のローテーションデー、成川理事長はじめ桜ヶ丘病院の皆さまには大変お世話になりありがとうございます。成川暢彦院長、卓話よろしくお願ひいたします。

成川(守)君:ようこそ桜ヶ丘病院へ。

岩本君:本日は桜ヶ丘病院さまには大変お世話になりました。誠にありがとうございます。成川理事長様、成川院長様、後程卓話よろしくお願ひします。

松村君:桜ヶ丘病院様、本日もお世話になります。ありがとうございます。

石垣君:成川先生、本日は大変御世話になります。

上野山(捷)君:桜ヶ丘病院さま、本日はお世話になります。

嶋田(崇)君:お世話になります。

岩橋君:成川先生、お世話になります。

橋爪(誠)君:桜ヶ丘病院の関係者の皆様、本日はご協力本当にありがとうございます。成川様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

上野山(英)君:本日は成川守彦さん、暢彦さん、お世話になります。

橋本君:成川先生、本日のローテーションデーよろしくお願ひ致します。

橋爪(正)君:成川さん、成川院長、本日はお世話になります。

宮井君:成川先生、本日よりお願ひします。

脇村君:桜ヶ丘病院さん、本日はお忙しい中ありがとうございます。よろしくお願ひします。

児島君:本日は桜ヶ丘病院さんにお世話になります。

應地君:成川先生、卓話を楽しみにしています。

中村君:桜ヶ丘病院の皆様には本日もご迷惑をおかけします。成川守彦先生、成川暢彦先生、卓話よろしくお願ひします。

卓話

「成川医院から桜ヶ丘病院へ  
～79年の沿革～」

会員

成川 守彦 君  
(桜ヶ丘病院理事長)



1982(昭和57)年5月

桜ヶ丘病院竣工  
(宮崎町)



初代院長  
千代子先生

大阪女子高等医学  
専門学校(関西医大)  
第1期生  
(昭和8年卒業)



最高の診療は 医師と患者の  
限りない“信頼”と深い“愛情”の上に  
築かれます (壁画ラテン語: 日本語)



ギリシアの医師ガレノス(129-200年頃)

1937(昭和12)年6月 箕島寿町に



成川医院開業

成川医院開業65周年・千徳会設立20周年

職員74名



高橋副院長 井上総院長 大塚専務 島田看護師

成川産婦人科医院 開院時スタッフ

職員13名



児島調理員

井上総院長

上田看護師

川口看護師

藤木看護助手

2004(平成16)年2月 第5次増改築②

リハビリ室・図書室・職員食堂の整備

<新リハビリ室>

施設基準2を取得できる規模に拡張



2005(平成17)年2~3月 **第6次増改築**

- ・診療録保管室・内科外来・本館トイレ
- ・相談室・新館3階詰所拡張・手術室改修
- ・**新館個室・新館談話室・新館リネン室**

診療録保管庫

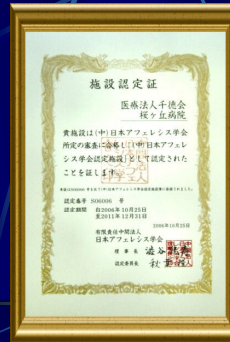
内科外来診察室

手術室



2006(平成18)年10月25日

有限責任 中間法人 **日本アフェレシス学会施設認定**



和歌山県下において  
数病院のみ認定施設許可

**アフェレシス療法とは**  
腎不全に対する血液透析療法のように血液中に病因物質あるいは病因に密接に関連する物質の存在が明確な疾患に対する血液浄化法のことである

2006(平成18)年10月 **第7次増改築①**

**腎センター室拡張工事(最大38床)**



1990(平成2)年9月

**特別養護老人ホーム田鶴苑開苑**  
(成川恵美苑長)



(入所定員62名→100名)

2006(平成18)年2月20日

**病院機能評価認定(Ver.4)**

有田地方で初!  
県内92病院中11番目



**ISO9001病院版**



**田鶴苑 開苑式(役員と職員)**



2006(平成18)年4月1日

**日本透析医学会教育関連施設認定**



県下92病院中  
公立病院が5施設  
民間病院が2施設のみ  
**桜ヶ丘病院は県下8施設目**

担当医 成川暢彦院長  
(当時:腎センター長)  
日本透析医学会 透析専門医  
日本透析医学会 透析医指導医

**桜ヶ丘病院**



## 桜ヶ丘病院朝礼

毎月曜日：全体朝礼  
 ローター「4つのテスト」唱和  
 毎日：部署別朝礼  
 千徳会理念・基本方針を唱和  
 「充実して生きるための135の言葉」  
 カセットテープを聞く

## QC活動

(QC=Quality Control: 業務改善)

昭和60年12月より

職員全員参加

年に2回発表会を開催

昨年12月に第55回発表会

(指導：元商工会議所専務 御前明良氏)

## 提案月間

日常の仕事の中で感じている不都合や不便さを解消し、患者さんへのサービスを向上させる為の制度

昭和60年より年2回4月と10月を提案月間と定め、職員より提案を募っている

## 桜ヶ丘病院研究発表会 (看護・介護研究発表会)

看護及び介護の質と知識向上を目的とし、平成2年12月より(25年間)看護研究発表会  
 平成9年12月より(18年間)介護研究発表会  
 年に1回院内での発表会を開催  
 平成26年から名称を「桜ヶ丘病院研究発表会」に変更  
 院外での発表会を開催

## 「慢性腎臓病」

桜ヶ丘病院 院長  
 成川 暢彦 様



本日は、慢性腎臓病について、お話をさせていただきます。どうぞよろしくお願ひします。

それでは、まず最初に、腎臓という臓器についての説明から入りたいと思います。腎臓は背中側の腰骨の上あたりに左右1個ずつあり、握りこぶし大の大きさでそら豆のような形をしています。重さは成人1個150g、心臓から送り出される血液の20%以上が流れています。

腎臓は、臓器の中でも消化管・肝臓と並んで血液が豊富に流れている臓器です。毎日200Lもの血液をろ過して老廃物を尿として体外に排出し、体の中をきれいに保っています。

次に腎臓の仕組みですが、1個の腎臓にはネフロンというものが約100万個存在しています。糸球体で汚れた血液をろ過し綺麗になった血液は体内に戻っていきます。必要なものは吸収、不必要なものは尿細管を介して、尿管を通過して膀胱に尿として溜まります。

腎臓の働きですが、血液の浄化／老廃物や毒素の排泄・体内の水分量や電解質の調節・ホルモンの分泌と調節を行います。

それぞれを、もう少し具体的に、説明します。

まず、血液浄化について、腎臓は全身をめぐる血液から老廃物や毒素を取り除き血液をきれいにします。老廃物や毒素は尿中に排泄され体の外へ送り出されます。腎臓が一日にろ過する血液の量は200リットルといわれており、大型のドラム缶1本分に相当します。この機能が低下すると、体中に老廃物や毒素がたまることとなります。老廃物が蓄積すると尿毒症という状態になり、倦怠感・頭痛・食欲低下・嘔吐・嘔気などの症状が出現します。

次に、体内の水分量や電解質の調節ですが、体の水分や電解質(ナトリウム、カリウム、リン、カルシウム、マグネシウムなど)は体内には不可欠なものですが、多すぎても少なすぎても悪影響がでます。腎臓はそれらの量を調節することで体内環境のバランスを保っています。ナトリウムが高くなったり低くなったりすると意識障害が出現します。またカリウムが高くなると不整脈を発生し、時には心停止をきたします。昔、私の所属していた和医大の教授のエピソードですが、30年前、有田の腎臓病の患者さんの突然死をよく経験したそうです。調べていくと、皆ミカン農家だったそうです。カリウムを多く含んでいる食物は果物類です。果物をあまりたくさん取りすぎないように注意していましたが、ミカン農家の方の取りすぎないという感覚が一般の人と、かけ離れていたのが原因だったそうで

す。このように、電解質異常というのは無症状に進行し、突然、意識障害や心停止をきたします。非常に怖い病態です。

最後にホルモンの分泌と調節ですが、腎臓では赤血球をつくるエリスロポエチンというホルモンや血圧を調節するレニン、プロスタグランジンなどのホルモンを分泌するほか、ビタミンDを活性化(体内で働くようにする)させて骨を作るカルシウムの吸収を助けています。よって、腎臓の機能が低下すると赤血球を作られなくなり貧血になったり、血圧調節が出来なくなり高血圧症になったり、カルシウムの吸収ができなくなり骨粗鬆症になったりします。

それでは、ここから今日の本題である慢性腎臓病についてのお話になります。慢性腎臓病の患者数は全国で約1330万人存在すると言われていています。成人の8人に1人です。ちなみに、糖尿病の患者数は全国で950万人といわれています。いかにすごい数だということが理解できるかと思えます。

次に、慢性腎臓病の定義ですが、腎臓の働きが健康な人の60%未満に低下するか、タンパク尿が出るといった腎臓の異常が続く状態です。また、慢性腎臓病になりやすいタイプは、高齢者、高血圧症・糖尿病の既往の方、喫煙者、過去に心臓病や腎臓病の既往がある方、家族に腎臓病がいる方などです。

CKDが進行するとどうなるか、腎臓は一度あるレベルまで悪くなってしまうと自然に治ることはなく放っておくと数十年かけて進行し、透析治療が必要な腎不全まで進行する場合があります。また、心筋梗塞・心不全や脳血管疾患(脳梗塞・脳出血)などの発症率が高くなります。さらに透析治療を行っている方では、癌の発症のリスクも4~5倍に高まります。そして、不幸にも腎臓機能が10%以下になると透析治療が必要となります。その透析療法には、血液透析と腹膜透析があります。

透析は腎臓の代わりに老廃物を排泄し、体内の電解質や水分量を維持して尿毒症を防ぐために行われます。血液透析は、血液と透析液の間の半透膜を通じて、水や物質の移動を行い、老廃物を除去して不足物を補います。

透析療法の効果は、血液中にたまった老廃物の除去・体内の余分な水分や塩分、リン、カリウムを除去・血液のPHを中性に戻すことです。いわゆる腎臓のかわりです。しかし、透析を行っても腎臓のホルモンを作る働きを補うことはできません。そのため、体に必要なエリスロポエチンを注射する薬物治療も行います。

慢性透析患者の推移ですが、日本は約31万人(国民400人に1人)の透析患者がいます。おそらく、次の統計では32万人を超えることが予想されます。和歌山県では約3000人です。現在、CKDから透析導入される方の約半分は糖尿病の方です。また、透析患者さんの合併症としては、二次性副甲状腺機能亢進症・血管石灰化、動脈硬化による心血管合併症・骨粗鬆症などがあります。特に心血管合併症のリスクは10倍から20倍となっています。

では、慢性腎臓病を予防するためには、どうすればよいか。生活習慣の改善(バランスのとれた食事・運動・禁

煙)と危険因子の適切な治療(高血圧・糖尿病などの管理)、早期発見のための定期的な健診の受診が腎臓を守るために重要です。腎臓病の症状ですが、初期の段階では蛋白尿・血尿を認めます。そして、徐々に病状が進行すると、尿量の低下・むくみが生じ、高血圧や貧血が併発発症します。末期になると、尿毒症(倦怠感・食欲低下・嘔吐・呼吸苦など)がひどくなります。

最後に治療ですが、基本は食事療法となります。タンパク制限や塩分制限です。それに、基礎疾患(糖尿病・高血圧・心臓病など)の治療です。末期になると水分制限も必要となります。治療の考え方としては、一度、落ちた腎機能は元には戻りません。病気の進行を食い止めて腎機能をできるだけ長持ちさせるように管理をしていきます。そのためには、食事療法と、基礎疾患(糖尿病、高血圧、心臓病)や併発病(貧血、アシドーシス)の治療をきっちりと行っていくことが重要となります。しかし、1番重要なのは早期発見・早期治療です。腎臓病の多くは無症状なので放置する方が多く、稀に受診に来られた時はすでに時遅し、今日から透析治療が必要という方もいらっしゃるかもしれません。慢性腎臓病は数十年かけて進行する病気です。健診を受けていただき尿異常を指摘されたら医療機関を受診する事、これが1番重要だと思います。

以上で慢性腎臓病についての話を終わらせていただきます。最後に、当院の腎センターの紹介と概要を説明させていただきます。腎センターは33床です。当院の3階にあります。日本透析医学会認定施設(和歌山県4施設)・日本アフェレーシス学会認定施設を取得しています。また、日本透析医学会指導医・認定医が勤務しています。今後とも、桜ヶ丘病院をよろしく願いいたします。ご清聴ありがとうございました。

閉会・点鐘 (中元会長)



桜ヶ丘病院内を少人数グループに分かれて見学させていただきました。

次週2/11(木)は  
祝日のため休会です。

